

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |            |          |
|---------|-----------------|------------|----------|
| 事業所番号   | 0174600205      |            |          |
| 法人名     | 社会福祉法人 幕別真幸協会   |            |          |
| 事業所名    | グループホーム くつろぎの家  |            |          |
| 所在地     | 帯広市西1条南28丁目4番地1 |            |          |
| 自己評価作成日 | 令和4年11月26日      | 評価結果市町村受理日 | 令和5年3月1日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

|             |   |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | <a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0174600205-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0174600205-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a> |
|-------------|---|

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                             |  |  |
|-------|-----------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ |  |  |
| 所在地   | 札幌市北区麻生町3丁目5の5 芝生のアパートSK103 |  |  |
| 訪問調査日 | 令和4年12月16日                  |  |  |

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が安心して、元気に健やかな生活が送れるように日々支援しています。くつろぎの家の日常生活の中で、洗濯物干し、拭き掃除、もやしのひげ取り、食事前の嚥下体操、歩行訓練等、積極的に、機能訓練に取り組んでいます。前年度は、コロナウイルス感染症に感染、クラスターとなり、感染対策(居室隔離、ゾーニング等)実施しました。解除後も、外出事は制限があり、中でも、利用者様に楽しんでもらうと、外での焼肉、花火大会、ドライブを行い、大変喜んで頂きました。施設内での行事が増え、利用者様のお誕生日会、お菓子作り、鍋パーティーを実施し、「食」にこだわりました。避難訓練は、火災を想定した訓練を実施し、各々が迅速、冷静に対応できるよう努力しています。研修は、感染対策につき、ビデオ研修(感染症等)を実施しました。今年もコロナウイルス感染症が拡大しており、色々な事が、制限されていますが、利用者様の健康管理、感染予防を強化し、元気に過ごして頂けるよう支援していきます。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、近隣に公園があり、都心部に近い住宅地に立地し、散歩にも適した場所である。母体法人は多くの介護保険施設を運営し、蓄積されたノウハウを生かしながら質の高いケアに努めている。20年以上前から地域との交流が保たれておりコロナ終息後の交流の再開を待ち望んでいる。外出や地域交流の制限がある中でも日常生活に散歩などの外気浴や洗濯物干しや掃除等事業所内で出来ることを検討し、個々の利用者が出来る範囲で役割分担を担い、職員と共に笑顔で暮らせるよう日々支援している。重度化への支援として本人、家族の意向を確認しながら母体法人とも協力し、利用者に適した居場所を一緒に考え、タイミング良く移動できるよう支援している。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|--|-----------------------|---|---|-----------------------|---|
|  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど揃っていない |   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目: 23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど揃っていない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目: 9,10,19) | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目: 18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目: 2,20)                   | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目: 38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目: 4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目: 36,37)  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目: 11,12)                                    | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目: 49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている<br>(参考項目: 30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                  | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目: 28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |                       |   |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 自己評価  |  | 外部評価   |  |
|--------------------|------|--|---|--|--|--|
|                    |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |  |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |  |   |  |  |  |
| 1                  | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | 毎月開いているスタッフ会議の時に、全員で唱和している。スタッフの見える所に提示して、日頃より意識してもらっている。 | 法人理念をもとに「地域と共に」を意識した事業所理念があり、スタッフ会議で管理者と職員は唱和している。事業所内のフロアに掲示し、利用者とともに共有している。  | 理念について、職員間で話し合い、時代の要請を取り入れ、現状にあった理念の見直しと職員間での理解を深め、支援に繋げていくことを期待したい。 |  |
| 2                  | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | コロナウイルスの感染対策により、町内会、保育所との親睦を図ることが難しくなる。                   | 町内会活動及び地域サロンでの行事は自粛している。日常の散歩時に地域の方と挨拶し交流を図っている。   |  |  |
| 3                  |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている   | コロナウイルスの感染対策のため、地域との交流を図ることが難しくなる。                        |  |  |  |
| 4                  | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                      | コロナウイルス感染対策より、集まったの開催が出来ず、書面に郵送している。                      | 2ヶ月毎に書面会議を開催している。行事報告、事業報告、事故報告及び身体拘束に関する内容を書面でメンバーに送付し、意見や要望を聞いている。町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族代表が参加している。              |  |  |
| 5                  | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 市の職員担当者とは、必要に応じて連絡を取り合っている。また、市からのメールも毎日確認している。           | 市の担当者とは感染状況やワクチン接種の件等で連携をとっている。また、生活保護担当者には病院受診時や病状について情報を共有している。介護保険課とは定期更新や区分変更等について相談し、実情を伝えている。                  |  |  |
| 6                  | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日中は、玄関の施錠はせず、解放している。身体拘束の会議は、定期的実施している。                   | 身体拘束委員会を定期的開催し研修を行っている。スピーチロックなど不適切なケアに繋がらないための学習機会がある。夜間のみ防犯のために施錠している。センサーマット使用の利用者には適正化委員会で定期的に協議し、家族に説明と同意を得ている。 |  |  |
| 7                  |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                       | 定期的に行っている身体拘束会議時に、虐待の事も一緒にスタッフ全員で、話し合いをしている。              |  |  |  |

グループホーム くつろぎの家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 現在、成年後見制度の利用者は、入居されていないが、今後、必要性が求められる。          |  |                   |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | 契約の締結時は、利用者様、ご家族が安心できるように、納得、理解して頂けるよう説明している。   |  |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                      | 面会時に、近況報告をしたり、通院後の結果を電話やメールで報告し、家族からの要望を伺っている。  | 家族から面会についての意見や要望があり、窓越しでの面会を行う等意見を反映している。家族が面会時などに意見を言いやすいように普段からコミュニケーションに努めている。            |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月、スタッフ会議を開催し、利用者の事、業務の事などを、話し合い、意見交換している。      | 社内情報共有支援システム活用により、法人内の連絡事項はタイムリーに共有されている。スタッフ会議で運営やケアの内容について、職員からの意見や要望を聞く機会をもうけて運営に反映させている。 |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員の意見や思いを聞き取り、どんなことでも相談できる、風通しの良い職場になるよう務めている。  |  |                   |
| 13   |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 本体と連携している研修委員を中心に、内部研修を実施している。                  |  |                   |
| 14   |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会に加入している。コロナウイルス感染対策により、交流や勉強会が、難しくなる。 |  |                   |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------|------|---|---|---|-------------------|
|                            |      |   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |   |   |                   |
| 15                         |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前に、くつろぎの家の見学を勧めている。ご本人、ご家族から生活状況を聞き取り、新しい生活への支援に向けたニーズの把握、不安、疑問の解消に務めている。             |   |                   |
| 16                         |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 職員から不安な事、要望などを伺い、ご家族に話をさせて頂いている。細やかな情報の共有をし、安心と信頼のある関係作りに努めている。                         |   |                   |
| 17                         |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | ご本人やご家族の意見、要望を聞き、サービスの実施に向け、各機関と連携しながら、実施している。  |   |                   |
| 18                         |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | 本人の意見を尊重し、本人の持っている個性を活かしながら、本人にとって最も住み良い生活に少しでも近づける様に支援する。                              |   |                   |
| 19                         |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている            | 身体状況や病状の経過報告や、行事に参加されている様子など、毎月の手紙、電話でお伝えしている。必要に応じて、窓越し面会を実施し、ご家族との関係が希薄にならないよう配慮している。 |   |                   |
| 20                         | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | コロナウイルス感染予防に努めながら、近隣を散歩したり、ドライブなどをして、利用者の気分転換ができるように支援している。                             | 家族には月に1回、利用者の写真とともに日常の様子を手紙で伝えている。メールでやり取りする家族もいる。携帯電話で友人と交流を継続している利用者もいる。訪問美容室で馴染みの美容師に整髪してもらっている。 |                   |
| 21                         |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                    | 職員が間に入り、利用者様同士で談笑したり、レクレーションを通じて、お互いの人間関係が深まる様に努めている。                                   |   |                   |

グループホーム くつろぎの家

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 自己評価   |   | 外部評価              |  |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|--|
|                                    |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                     | 運営本体の特養に入所された利用者の生活の様子を必要に応じてお伝えしたり、入院で退居されたご家族にも、いつでも相談に応じる事を伝えている。           |   |                   |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |  |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人、ご家族に暮らし方の希望を伺い、ケアプランのニーズとしてとらえ、ケアプランに反映させている。                              | 入居時に本人や家族から生活歴を聞き取り、生活上の希望や要望を把握している。表現が困難な利用者には表情や仕草などをもとに職員で検討している。申し送りノートを使いスタッフ間で利用者の情報を共有している。     |                   |  |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご家族や担当ケアマネに生活歴を伺ったり、ご本人が好きな事等を、把握するよう努めている。                                    |   |                   |  |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | ご本人の生活リズムや、その日の体調に合わせて、ケアを行い、一人一人の身体状況に合ったケアを心がけている。                           |   |                   |  |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画は、ご本人の要望や、ご家族の想い、主治医からの留意点等を、ケア会議でスタッフと話し合い、計画を立てている。                      | 3ヶ月毎にケア内容及び介護計画の見直しをしている。担当スタッフが日々の記録からモニタリングを行い介護計画を作成している。計画書を家族へ郵送し、説明と署名を得ている。ケアマネが本人へ説明し職員も共有している。 |                   |  |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 生活記録、申し送り帳の他、その日の様子を細かく申し送る等、情報を共有し、ケアを行っている。                                  |   |                   |  |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 以前は、利用者様の好みの床屋にも行っていたが、コロナウイルス感染対策のため、出張美容サービスの利用を行った。                         |   |                   |  |
| 29                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | コロナウイルス感染対策で、地域の方との交流は難しいが、オンラインやスクリーンを用いたの面会を通じて、地域と繋がりのある豊かな生活を遅れるよう支援している。  |   |                   |  |
| 30                                 | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                    | ご本人、ご家族の希望の病院に受診できるよう配慮している。また協力病院による月1度の往診や、委託薬局の健康相談を受け、適切な医療を受けられるよう支援している。 | 家族の協力を得ながらかかりつけ医に受診する利用者を支援している。協力医による月1回の訪問診療の他訪問歯科、薬局の居宅療養管理指導を受けるなど適切な医療を受けられるよう支援している。              |                   |  |

グループホーム くつろぎの家

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31                               |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | 外部薬局に薬の管理を委託し、協力病院の往診時に入居者の状況を共有し、アドバイス頂いている。                  |   |                   |
| 32                               |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先のソーシャルワーカー等と連絡を取りながら、現在の状況や退院後の環境を話し合い、必要な時は、訪問し関係性を作っている。  |   |                   |
| 33                               | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入所時に、重度化した時の対応をご家族に説明し、同意を得ている。その時の状況をスタッフで共有し、対応している。         | 入居時に「重度化や終末期の指針」を本人、家族に説明し、同意を得ている。入居後の状況に応じて特養申請の相談や医療機関への受診、入院など本人や家族等と話し合いに対応している。         |                   |
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | マニュアルを作成しており、急変や事故発生時に対応できるよう定期的に研修を行い、シュミレーションしている。           |   |                   |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 防災訓練の計画表を作成し、昼夜の避難訓練を実施している。コロナウイルス感染対策のため、地域の方は、参加されていない。     | 火災、水害を想定し、定期的に年、2回の避難訓練を行っている。避難訓練時に対応マニュアルの確認と消火器の使用法、連絡網による実施等を行っている。隣接する事業所貸主との協力体制を築いている。 |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |   |                   |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている  | 会議等で、言葉使いやケアに対して話し合い、利用者様、目上の人であるという意識を持って接するようスタッフに周知している。    | 一人ひとりの人格を尊重し、個々に応じた対応を心がけている。入浴や排泄、居室への入室時への声かけは常に目上の方への対応を意識し、職員で共有しながら実践している。               |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている   | レクリエーションをする時は、選択肢を用意し、好みに合わせて選んで頂けるようにし、利用者様が、希望を話しやすいようにしている。 |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                   | 利用者様のペースに合わせて、ご本人の思いや希望を伺い、スタッフが利用者の合わせられるようにしている。             |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している  | 定期的に理美容室を利用して頂いたり、洋服や化粧品の好みを聞き、その人らしさを大切にしている。                 |   |                   |

グループホーム くつろぎの家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|---|---|---|-------------------|
|      |      |   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 生活において、食事は楽しみの一つなので、一人一人の好みを活かしながら、個々に合わせた形態で提供している。                                | 法人本部の管理栄養士が献立を考えカロリー計算をしている。献立に沿った食材が定期的に配達され調理している。定期的に自由献立の日もあり、要望を取り入れた鍋パーティやテイクアウト料理を楽しんでいる。嚥下機能に合わせて喫食できるよう食形態を工夫している。 |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | 食事、水分量は、把握している。<br>水分摂取が難しい時は、ご本人に合わせた飲料を提供している。                                    |   |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 一人一人に合わせた口腔ケアを行い、口腔内の清潔を保持している。   |   |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | 排泄の状態を職員が把握し、時間で声かけをし、誘導している。   | 入居者のほぼ半数の方は自立している。各人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄支援に向けて、声掛けをしたり、気持ちよく過ごせるようパットの確認をしている。   |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 排便チェックを毎日行い、便秘にならないように、水分を多く摂取するよう促している。<br>時々、座薬や下剤を使用している。                        |   |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 入浴は、利用者様にとって、楽しみの一つになっている。<br>週2回の実施しているが、拒否がある場合は、無理せず、スタッフを代えたり、日にちをずらしたりして行っている。 | 週2回の入浴を基本としている。またはシャワー浴や清拭など清潔を保持できるよう利用者各人に寄り添った支援をしている。家庭用浴槽だが、車いす対応の利用者には2人体制で浴槽に入れるよう支援している。                            |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | 日中に運動や作業を入れて、活動して頂き、就寝時間は決めておらず、自由に自室に戻り、休まれている。                                    |   |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 薬は、委託薬局が管理している。<br>担当が薬を確認、把握し、変化があれば、その都度、医師に相談している。                               |   |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 複数の作業を協力して行っている。<br>室内行事を中心に楽しんでもらっている。   |   |                   |

グループホーム くつろぎの家

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|--|--|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | 天気が良ければ、ご本人の希望に沿って、町内を散歩、ドライブ等、気分転換を図っている。                                       | コロナ感染予防で意に沿った外出支援は困難だが、病院受診時に車内から紅葉を見たり、ドライブを企画して楽しんでいる。戸外での散歩も定期的に行い外気浴や公園の子供を眺めたりして過ごすこともある。夏には事業所玄関前でテントを張って焼肉や花火をして楽しんでいる。 |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | お金の管理は、ご本人、ご家族に了承してもらい、施設で管理している。一緒に買い物に行くことは、できなかったが、ご本人が希望される物を担当スタッフが、購入している。 |  |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ご本人が希望された時は、電話のやりとりが、いつでもできるよう支援している。担当の方から、毎月写真付きで、近況報告している。                    |  |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者様の目線に立って、快適な空間作りを心がけている。温度、湿度には、気を配り、観葉植物を置いたりしている。                           | 共用のスペースには季節感漂う飾りつけがされている。また、行事の際、撮影した利用者の笑顔の写真を掲示している。食後もリビングで過ごす利用者が多く、もやしのひげ取りや洗濯物たたみなどできることを日課にしている。                        |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 自由に過ごして頂けるよう、心がけている。利用者様同士コミュニケーションが図れる場を設け、工夫している。                              |  |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 自室では、ご本人が使用している物、愛着のある物をお部屋に置くなど、一人の時間を居心地良く、過ごせるように工夫している。                      | 居室にはテレビの貸し出しが受けられる他、ペットやタンスが設置されている。入居者が使用していたタンスや家族写真、仏壇等を配置し、居心地よく過ごせるよう工夫している。転倒予防のためにペットや手すりの配置を本人、家族と相談している。              |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 職員と一緒に洗濯物干し、たたみ、自室の拭き掃除等、一人でも可能な事は、支援を続けている。                                     |  |                   |